



2013年3月期 第2四半期決算説明会

富士機械製造株式会社

Nov. 2012

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



連結業績

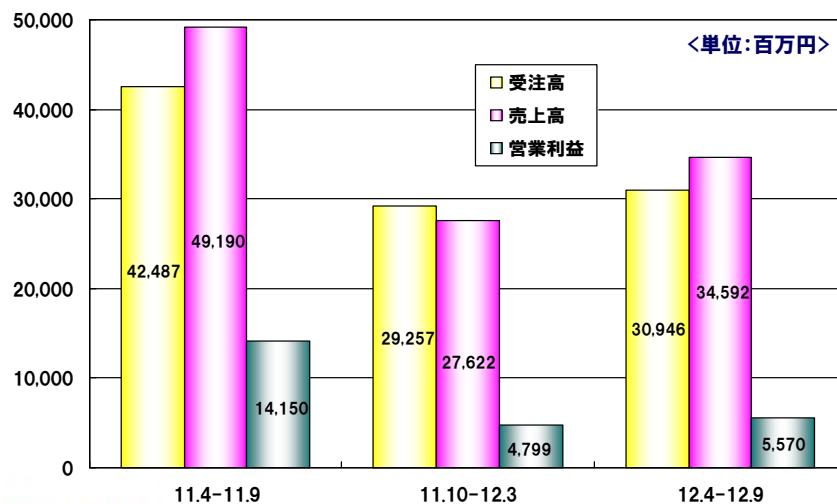
第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)	11.4-11.9 実績	11.4-12.3 実績	12.4-12.9 修正予想 (8月9日)	12.4-12.9 実績	対前年 同期 増減率	修正予想 増減 (8月9日比)
売上高	52,871	86,249	43,000	40,584	△23.2%	△2,415 △5.6%
営業利益	12,367	15,672	5,700	4,466	△63.9%	△1,233 △21.6%
営業利益率	23.4%	18.2%	13.3%	11.0%	△12.4%	△2.3%
経常利益	12,099	15,661	5,800	4,440	△63.3%	△1,359 △23.4%
当期純利益	6,073	8,516	3,700	2,921	△51.9%	△778 △21.0%
一株当たり 当期純利益	円 124.25	円 174.22	円 75.69	円 59.77		
一株当たり 配当金	円 20.00	円 35.00	円 17.50	円 17.50		

連結業績

電子部品組立機事業

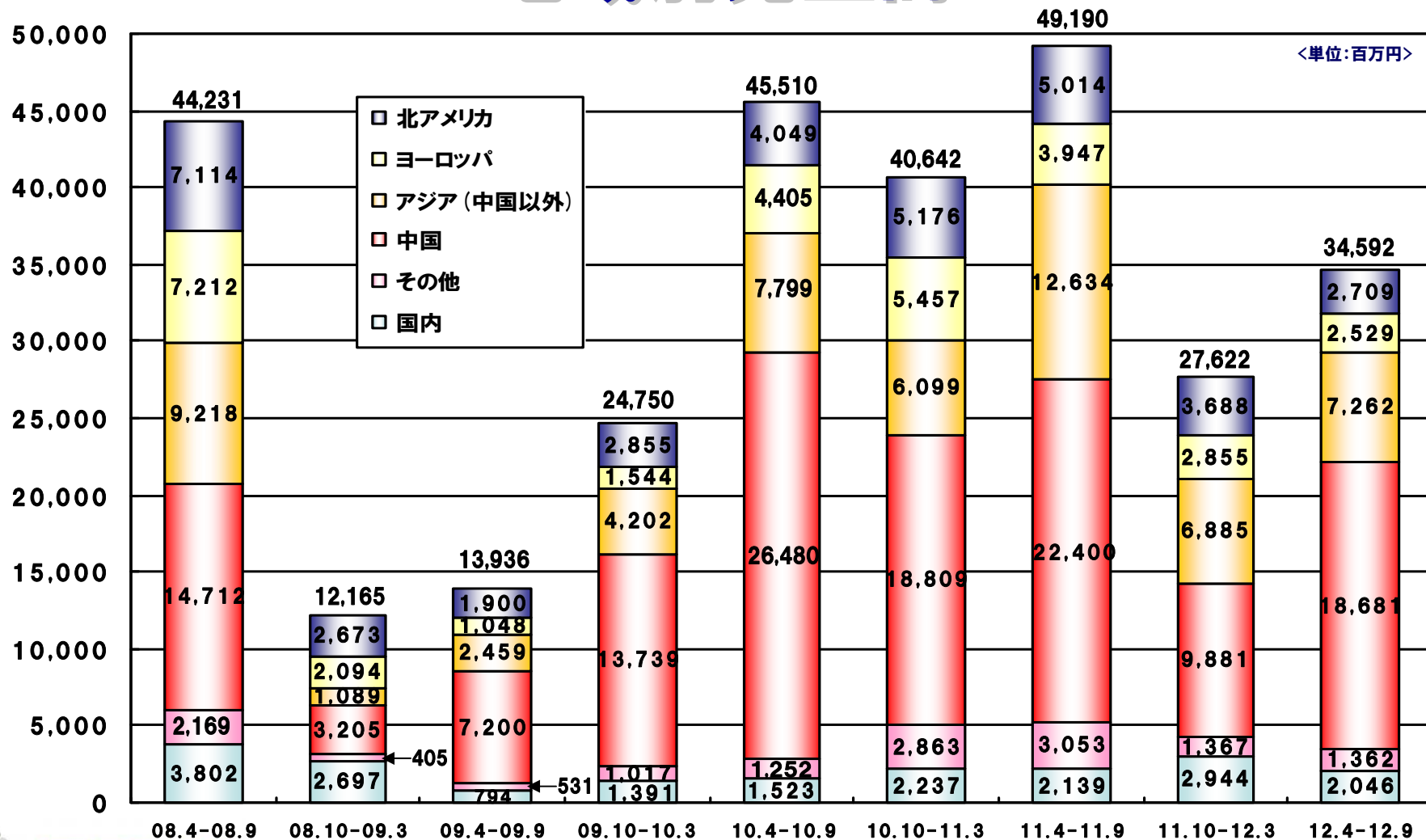
(単位:百万円)	11.4-11.9 実績	11.4-12.3 実績	12.4-12.9 修正予想 (8月9日)	12.4-12.9 実績	対前年 同期 増減率	修正予想 増減 (8月9日比)
受注高	42,487	71,745	37,200	30,946	△27.2%	△6,253 △16.8%
売上高	49,190	76,813	37,700	34,592	△29.7%	△3,107 △8.2%
営業利益	14,150	18,949	—	5,570	△60.6%	—
営業利益率	28.8%	24.7%	—	16.1%	△12.7%	—



NXT III
Fuji Scalable Placement Platform

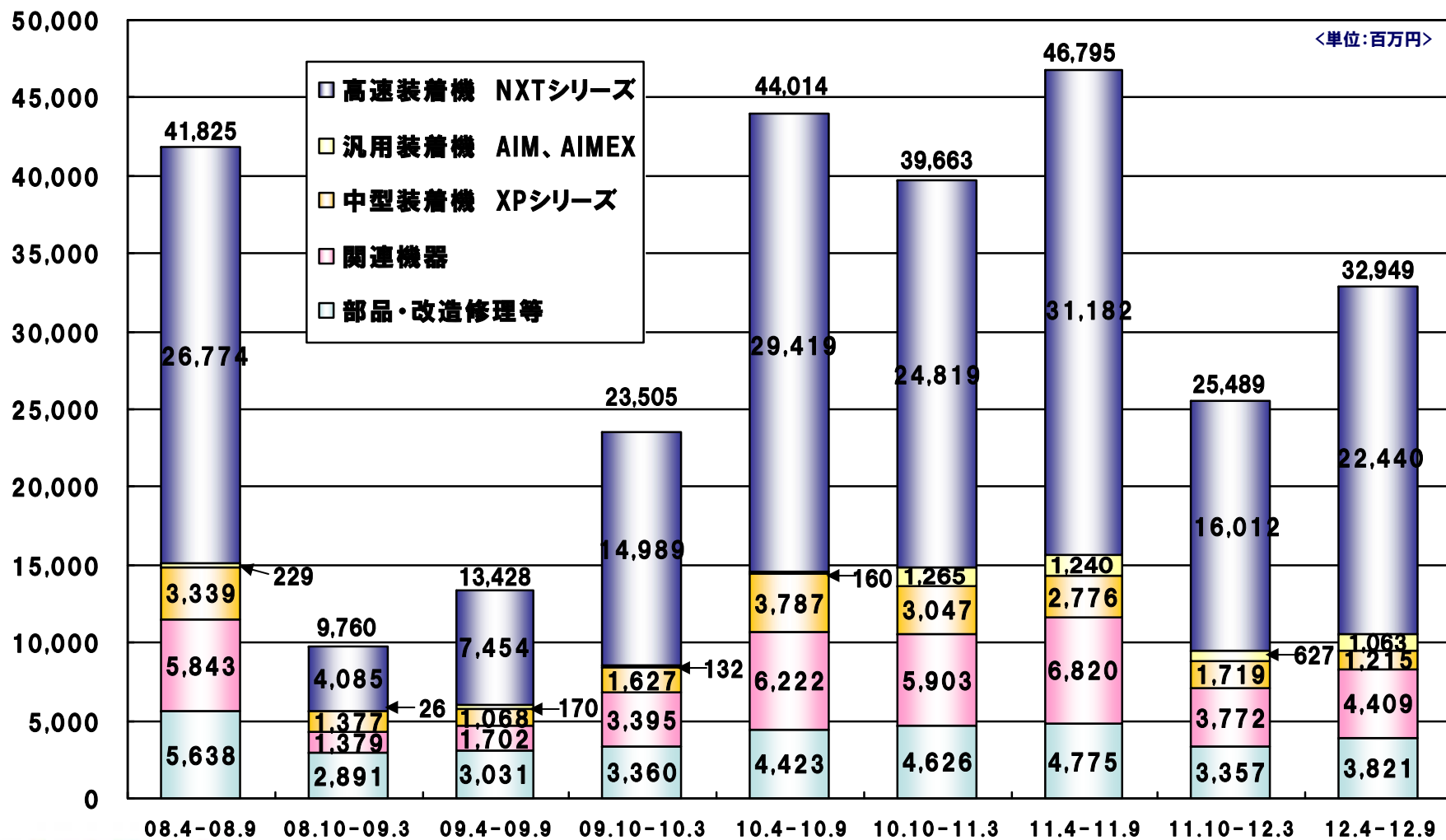
連結業績

電子部品組立機事業 地域別売上高



単体業績

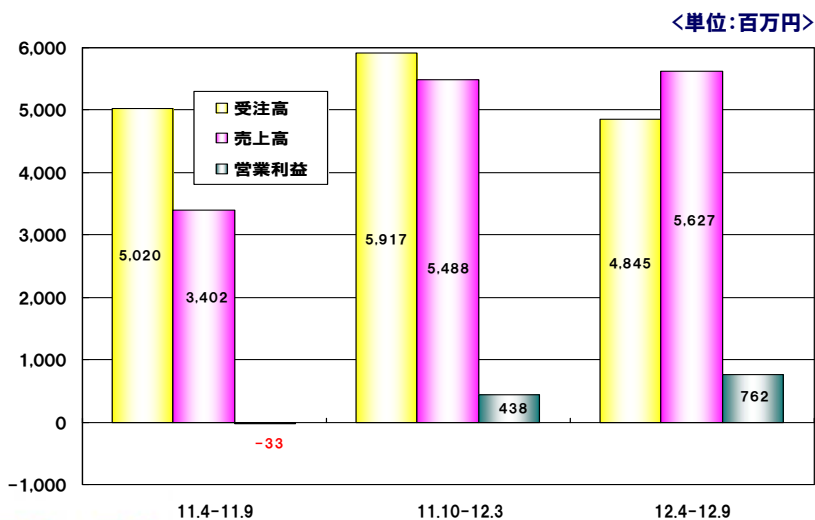
電子部品組立機事業 機種別売上高



連結業績

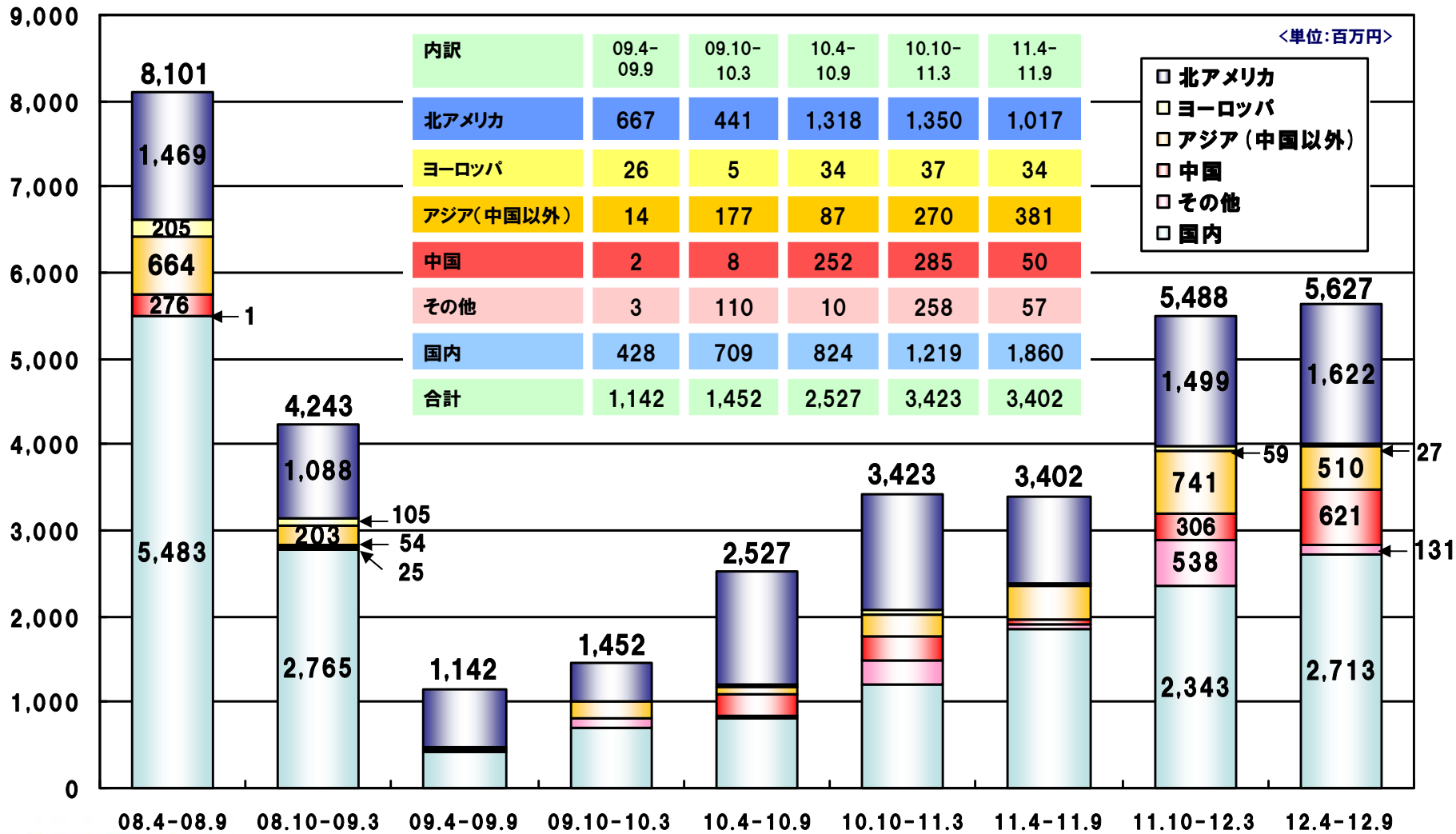
工作機械事業

(単位:百万円)	11.4-11.9 実績	11.4-12.3 実績	12.4-12.9 修正予想 (8月9日)	12.4-12.9 実績	対前年 同期 増減率	修正予想 増減 (8月9日比)
受注高	5,020	10,937	5,600	4,845	△3.5%	△754 △13.5%
売上高	3,402	8,890	5,100	5,627	65.4%	527 10.3%
営業利益	△33	405	—	762	—	—
営業利益率	△1.0%	4.6%	—	13.5%	—	—



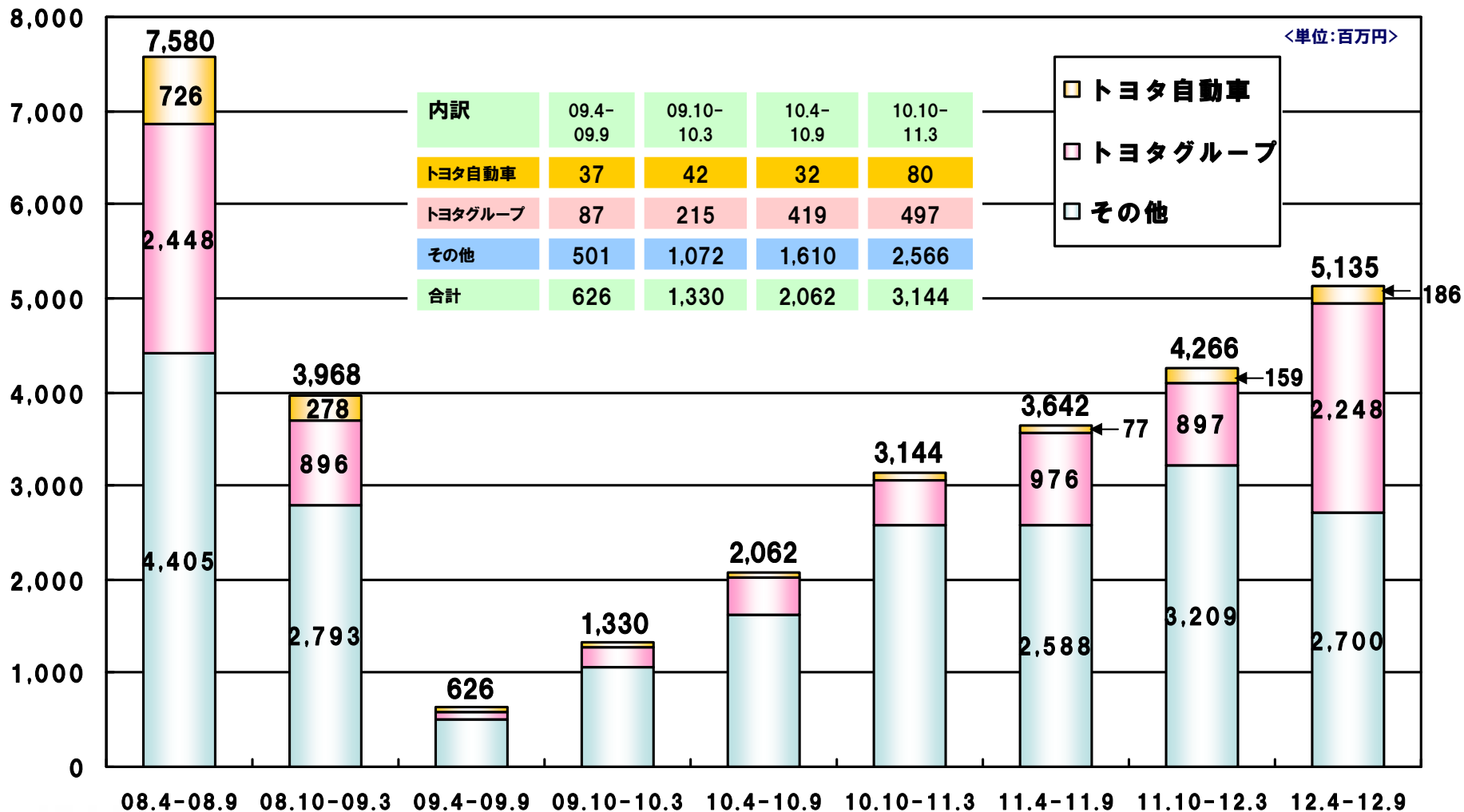
TN300

連結業績

工作機械事業
地域別売上高

単体業績

工作機械事業 主要ユーザー別売上高



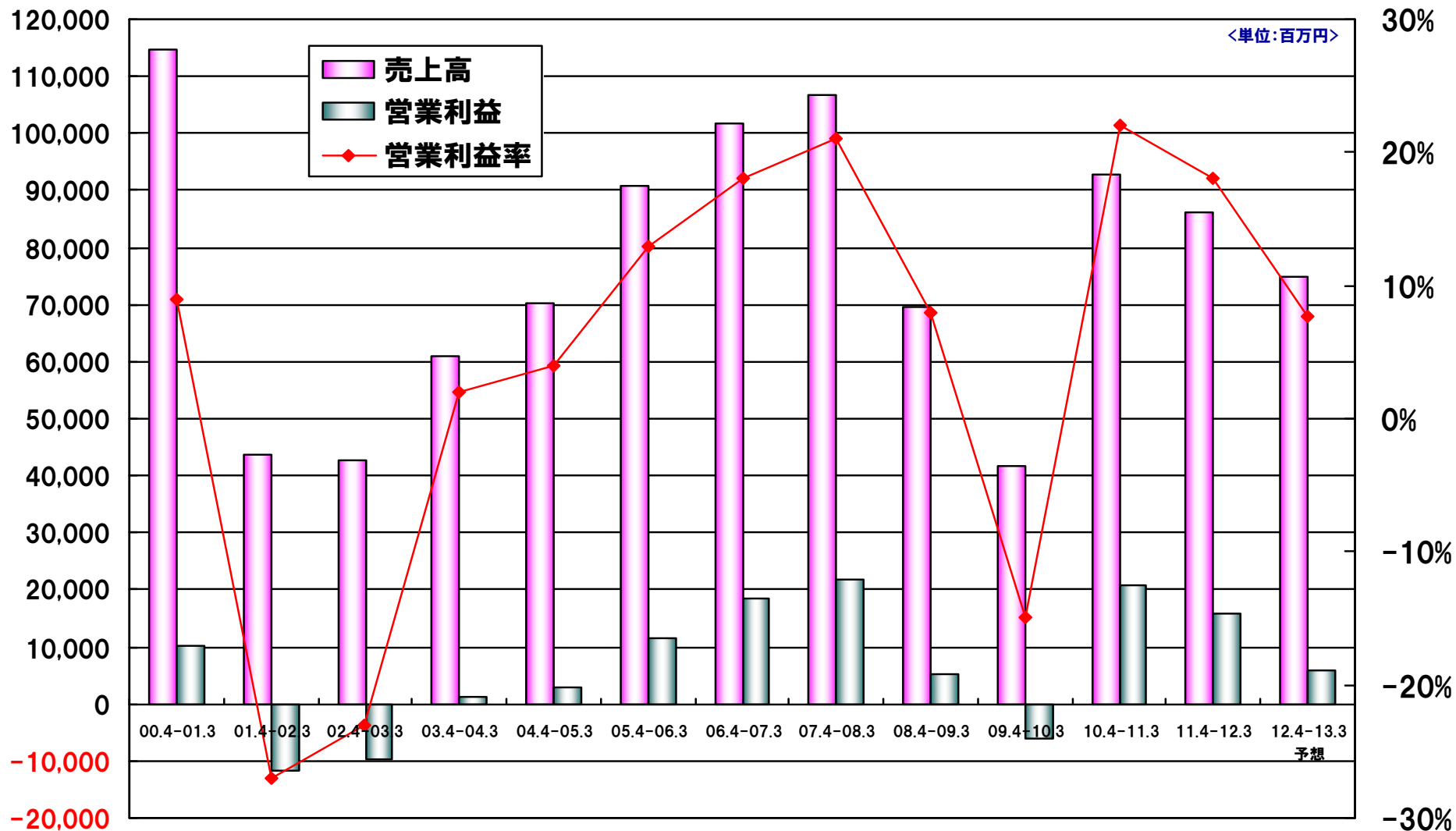
業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)	11.4-12.3 実績	12.4-13.3 修正予想 (8月9日)	12.4-13.3 修正予想 (11月8日)	対前期 増減率
売上高	86,249	83,000	75,000	△13.0%
営業利益	15,672	10,600	5,800	△63.0%
営業利益率	18.2%	12.8%	7.7%	△10.5%
経常利益	15,661	10,800	5,900	△62.3%
当期純利益	8,516	7,000	3,600	△57.7%
一株当たり 当期純利益	円 174.22	円 143.21	円 73.65	
一株当たり 配当金	円 35.00	円 35.00	円 27.50	

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結セグメント

受注高

売上高

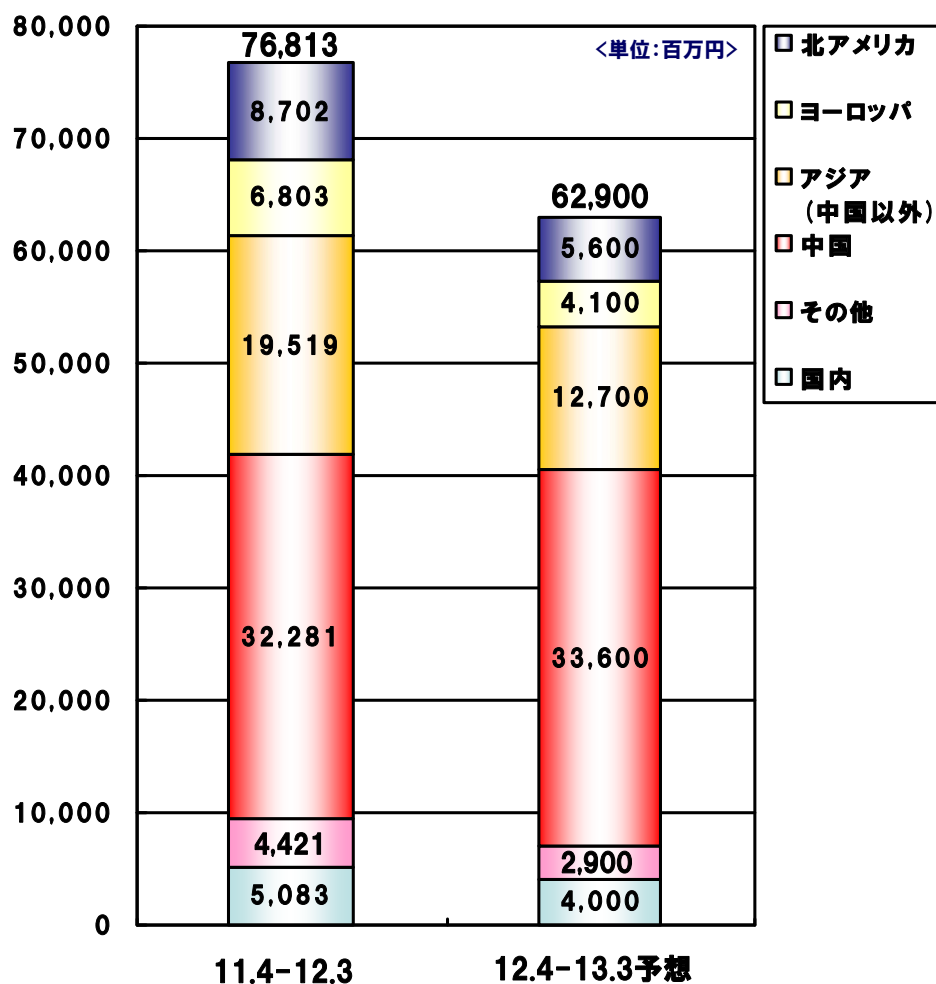
受注残高

(単位:百万円)	受注高			売上高			受注残高		
	11.4- 12.3 実績	12.4- 13.3 予想 (11月8日)	対前期 増減率	11.4- 12.3 実績	12.4- 13.3 予想 (11月8日)	対前期 増減率	12.3 実績	13.3 予想 (11月8日)	対前期 増減率
電子部品組立機	71,745	62,500	△12.9%	76,813	62,900	△18.1%	6,901	6,501	△5.8%
工作機械	10,937	10,800	△1.3%	8,890	11,400	28.2%	5,467	4,867	△11.0%
その他	365	700	91.5%	546	700	28.2%	81	81	0.0%
合計	83,048	74,000	△10.9%	86,249	75,000	△13.0%	12,450	11,450	△8.0%

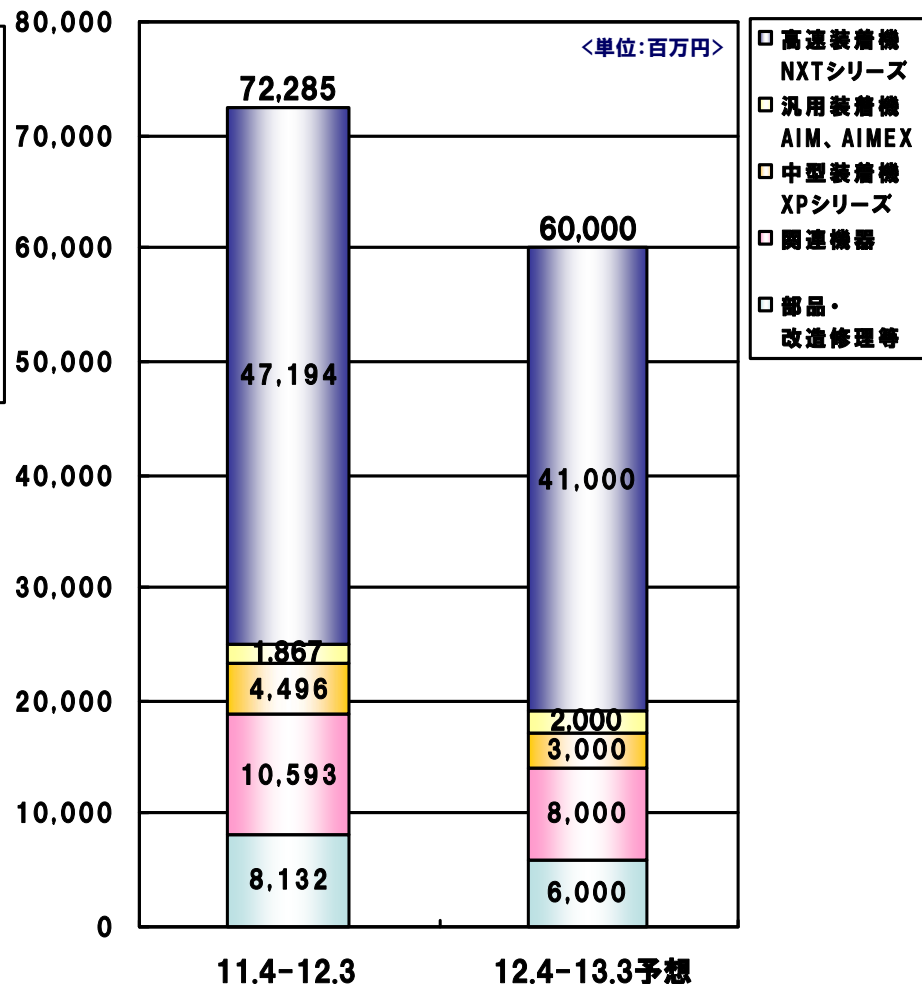
業績予想

電子部品組立機事業

地域別売上高(連結)



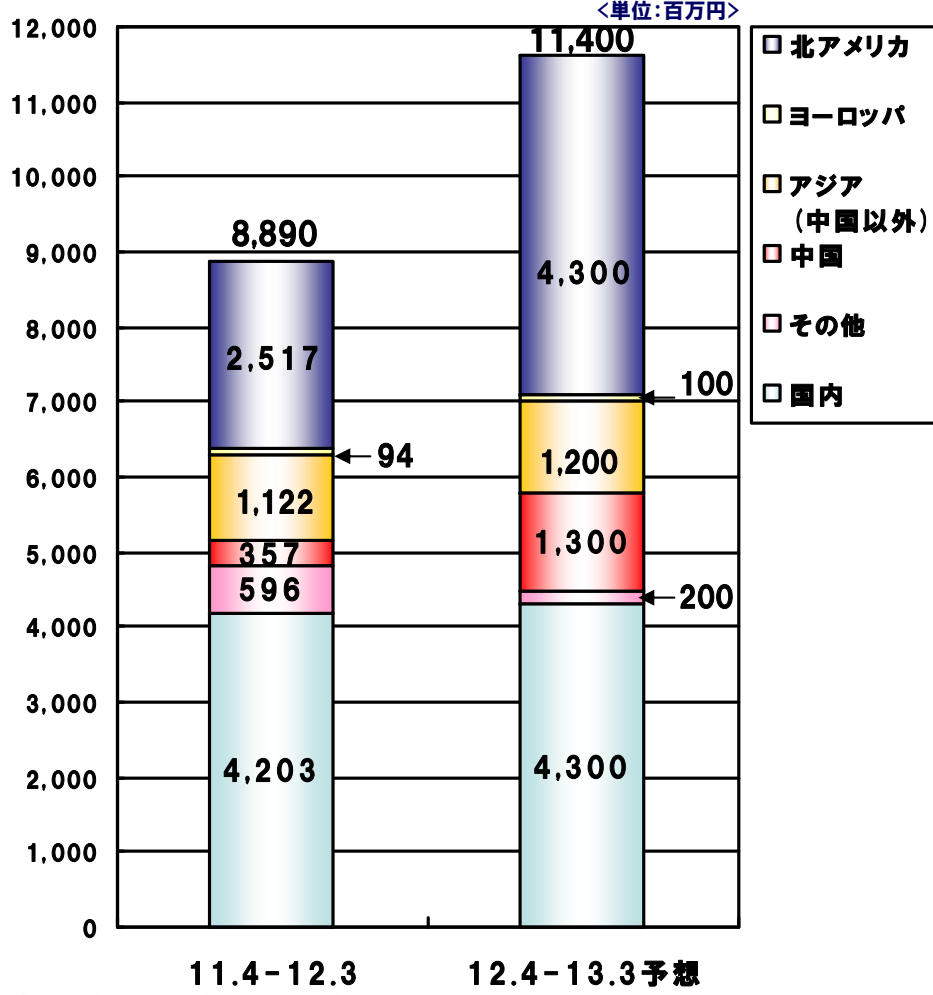
機種別売上高(単体)



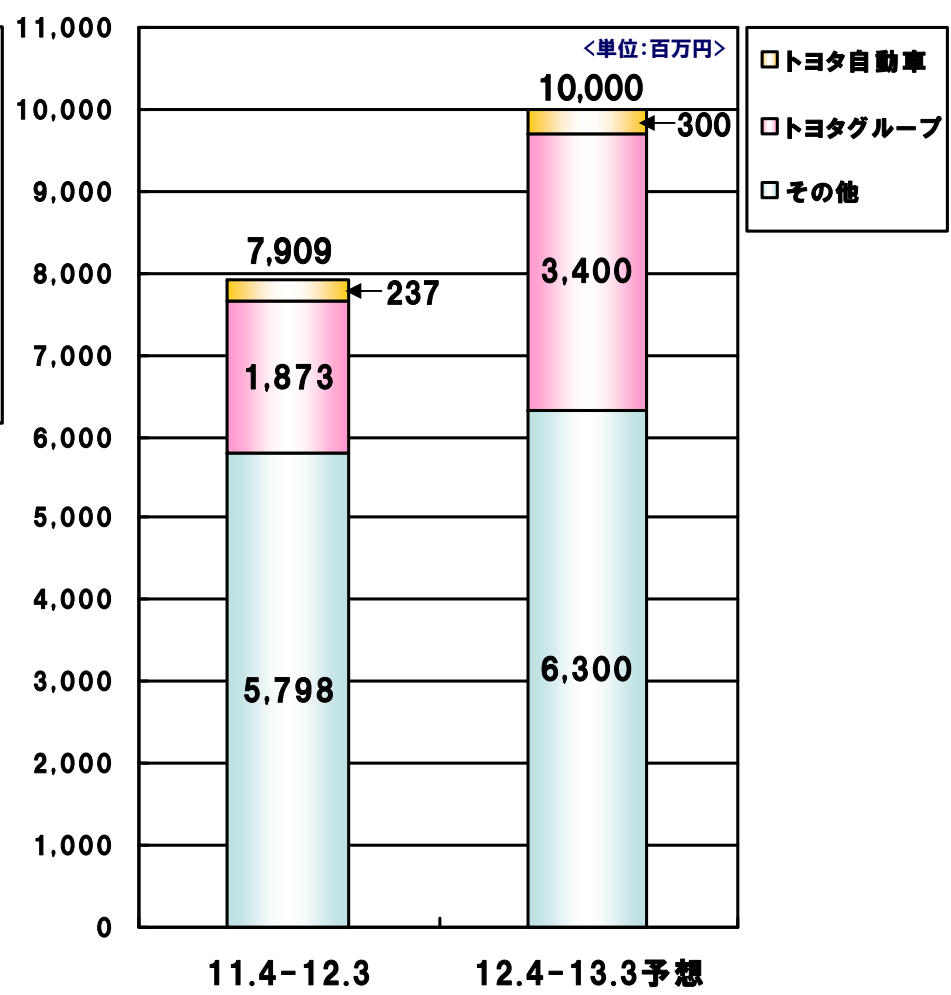
業績予想

工作機械事業

地域別売上高(連結)

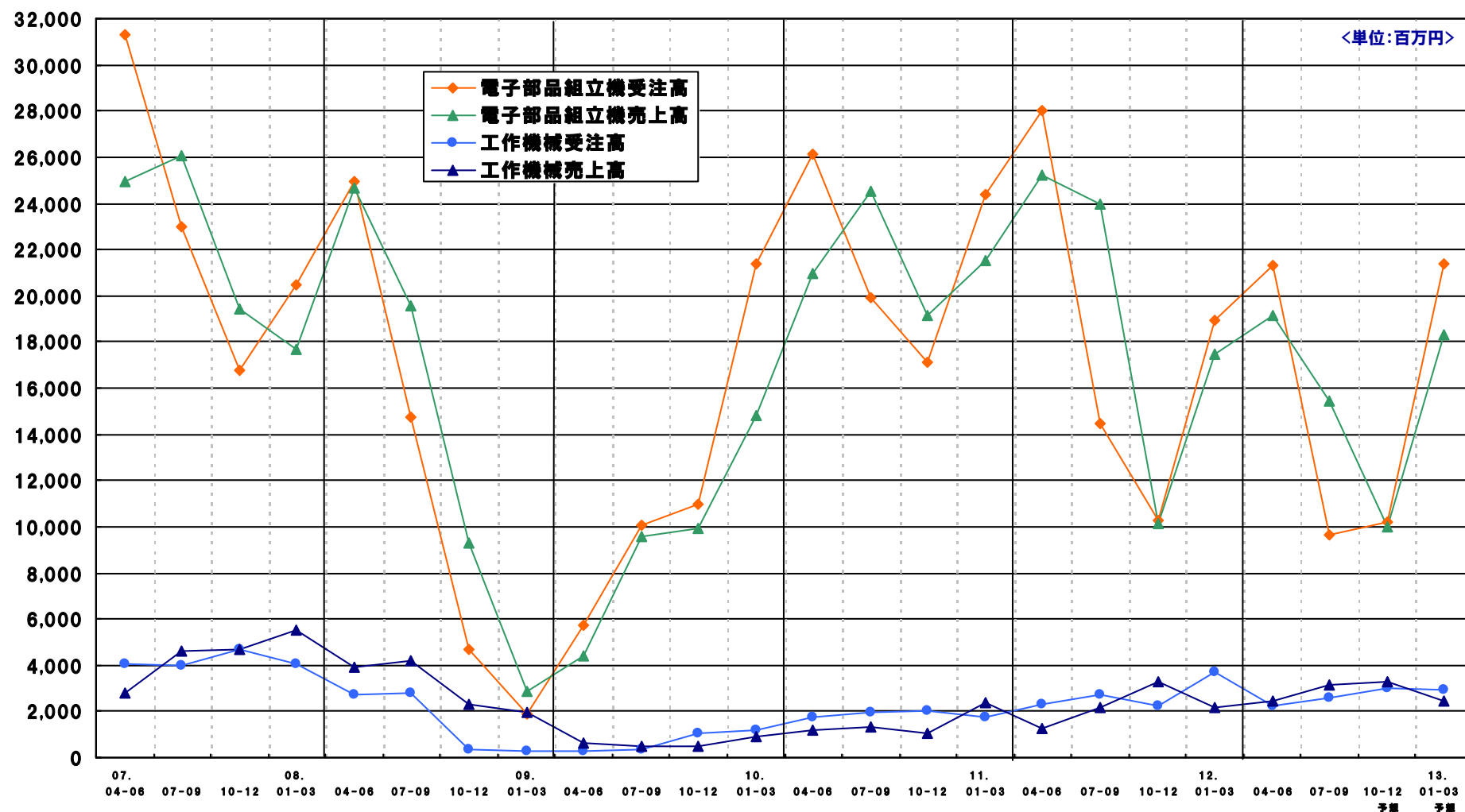


主要ユーザー別売上高(単体)



業績予想

四半期別連結受注高・売上高



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

電子部品組立機事業

真のNo.1ブランドの確立

- ・製品競争力強化および次世代製品開発
- ・グローバル営業の積極展開
- ・競合を圧倒する品質⇒お客様の信頼

工作機械事業

利益創出体制への変革

- ・革新的製品の開発
- ・製造コスト削減、リードタイム短縮
- ・海外展開の加速

活力・スピード経営の推進

～早く知り、早く手を打つ～

技術開発センター

イノベーションの創造

- ・成長市場に向けた迅速な商品化、事業化
- ・次世代要素技術開発
- ・特許戦略の強化

全社

活力ある組織

- ・業務品質の向上、コストの徹底削減
- ・全社情報システムの再構築
- ・コンプライアンス徹底、良い風土・習慣
- ・環境対応強化

電子部品組立機事業

事業部方針

『Market Leader30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- 国内:円の高止まり、ものづくりの空洞化、対中問題
- 米国は回復基調も、世界経済全体は減速、高い下振れリスク
- 中国、東南アジア、南米を中心とした新興国の成長鈍化

■世界的な景気回復の遅れを受け、マウンター需要回復も一服

- 市場規模:2011年度 約2,400億円(上期1,500億円、下期900億円)
2012年度 約2,000億円(上期1,100億円、下期900億円)予測
- 短期展望:スマホ、タブレットPC市場の成長
PC、薄型TVの成長鈍化
- 中期展望:中国その他新興国を中心に底堅く推移、先進国は停滞
新商品、新興国需要の拡大が牽引役
現地生産の高まり。中国民族系企業の台頭と淘汰

↳ 市場の変化への迅速かつ柔軟な対応

- ・高精度、高密度、混載、基板内蔵など高付加価値実装
- ・高信頼性、高稼働率、自動化要求への対応
- ・性能・価格二極化への対応

電子部品組立機事業

事業戦略

営業

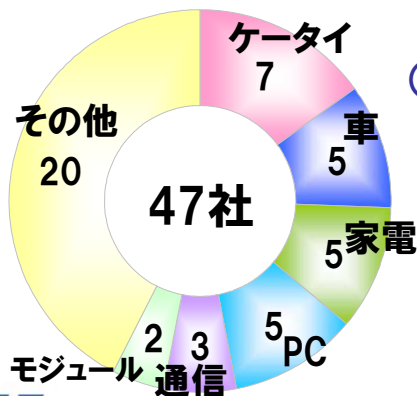
- ▶ 市場開拓・新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
- ▶ 中国・東南アジアの販売網拡充、代理店の育成
- ▶ セールスツールの徹底見直し、営業および代理店強化

開発

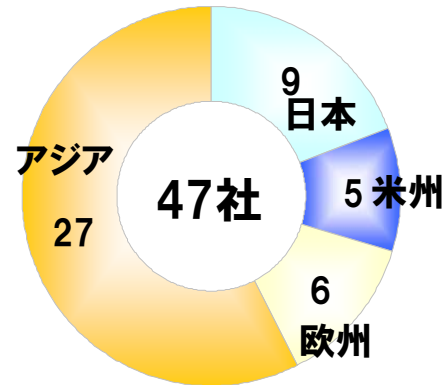
- ▶ 高付加価値実装、自動化・省人化、SMT後工程への取り組み
- ▶ トータルソリューションビジネスの拡充、ソフト体系の整備
- ▶ 開発効率30%向上、徹底したコストダウン設計

生産

- ▶ 品質不良の撲滅
- ▶ 物流および工程改革
- ▶ 協力会社との相互信頼関係強化とQCDの徹底追及



新規獲得顧客
(含 既存顧客新Div)
2012年4-9月



2008年度	82社
2009年度	98社
2010年度	178社
2011年度	137社

工作機械事業

事業部方針

『利益創出体質への変革』

事業環境・戦略

■外需主導で堅調に推移するも停滞、減速感

- ➡ 米国は高水準で推移、新興国成長の鈍化
- ➡ 日工会の2012年受注額は1兆2,000億円超の見込み
- ➡ 円高対応(コスト削減、現地生産)

国内工作機業界全般

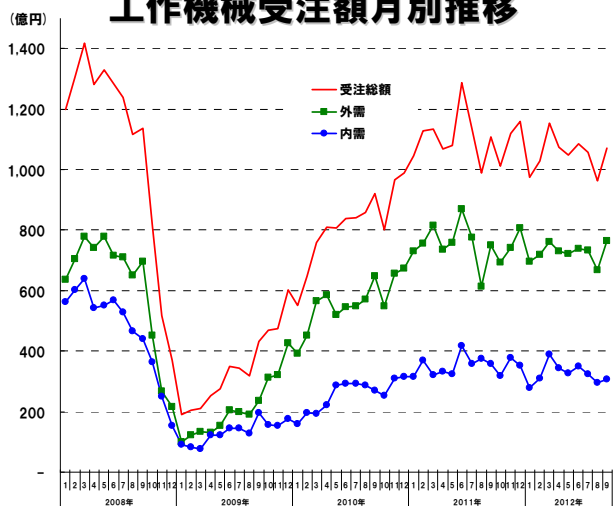
◆主力製品(TN・CSDシリーズ)の進化、拡販

- ➡ タッチパネル方式ソフトウェア搭載、回転工具付仕様投入、省エネ
- ➡ 新興国での販売力強化(中国・東南アジア・中南米市場開拓、販売網構築)

◆事業の更なる合理化、体質強化

- ➡ 生産システムの改善、昆山富士での生産開始など

工作機械受注額月別推移



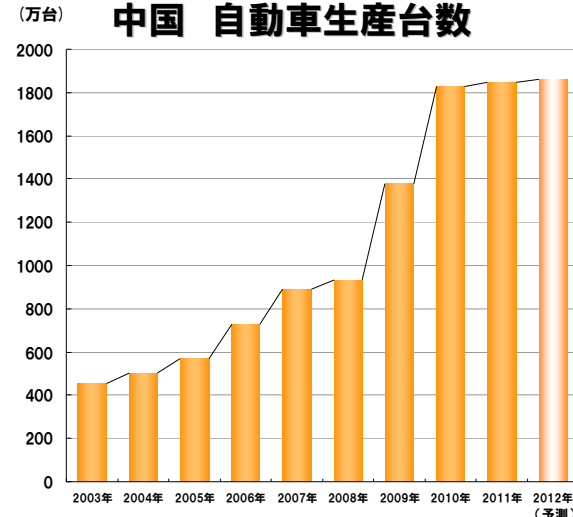
出所:日工会

世界 自動車生産台数



出所:世界自動車工業会資料よりFUJI作成

中国 自動車生産台数



出所:中国汽车工业协会資料よりFUJI作成



FUJII

innovative spirit